



チョウはどうして飛ぶの

からだ かる おお はね
体が軽く、大きな羽をもっているから

はね ひろ おお み だいぶん はね からだ ぶぶん ちい
羽を広げると、大きそうに見えるチョウも、よく見ると大部分は羽で、体の部分は小さく、とても軽いものです。チョウを解ぼうしてみると、胸のあたりは、羽を動かすための筋肉がびっしりつまっています。だから、チョウは、ひらひら飛べるのです。

さが たまご う あいてさが
えさ探し、卵を産むための相手探し

チョウは、生きていくために、食べ物を探さなければなりません。花のみつを吸うモンシロチョウやアゲハチョウ、木の樹液を吸うオオムラサキやゴマダラチョウというように、チョウは、種類によって食べ物がちがいます。メスのチョウにとっていちばん大事なことは、卵を産むためにオスと出会うこと、それから、卵を産むよい場所を見つけることになります。

ようちゅう き は た
チョウの幼虫は決まった葉しか食べない

たまご からかえったチョウの幼虫は、決まった植物の葉しか食べません。ですから、メスのチョウは、幼虫が食べる植物を探して、そこに、卵を産んでおかなければならないのです。

チョウが飛べなかったら、どこにも行けないし、生きていくことも、子孫を残すこともできなくなります。(監修・中山 周平)

